

保医発 0531 第 2 号
令和 4 年 5 月 31 日

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

） 殿

厚生労働省保険局医療課長
（ 公 印 省 略 ）

厚生労働省保険局歯科医療管理官
（ 公 印 省 略 ）

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
の一部改正について

今般、下記の通知の一部を別添のとおり改正し、令和 4 年 6 月 1 日から適用することとするので、その取扱いに遺漏のないよう、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底を図られたい。

記

別添 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」（令和 4 年 3 月 4 日保医発 0304 第 9 号）の一部改正について

別添

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
（令和4年3月4日保医発0304第9号）の一部改正について

Iの3の146（4）中の「急性期 Stanford B 型大動脈解離」を「Stanford B 型大動脈解離（解離性大動脈瘤を含む）」に改める。

(別添参考)

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(令和4年3月4日保医発 0304 第9号)の一部改正について
(傍線の部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>I 診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)(以下「算定方法告示」という。)別表第一医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い</p> <p>001~145 (略)</p> <p>146 大動脈用ステントグラフト</p> <p>(1)~(3) (略)</p> <p>(4) 大動脈解離用ステントグラフトは、当該材料の解剖学的適応を満たす合併症を有する <u>Stanford B 型大動脈解離(解離性大動脈瘤を含む)</u> を有する患者のうち、内科的治療が奏効しない患者に対して、ステントグラフト内挿術が行われた場合に限り算定できる。なお、大動脈解離用ステントグラフトを使用するに当たっては、関係学会の定める当該材料の実施基準に準じること。</p> <p>(5) (略)</p> <p>147~216 (略)</p> <p>4~6 (略)</p> <p>II~IV (略)</p>	<p>I 診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)(以下「算定方法告示」という。)別表第一医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い</p> <p>001~145 (略)</p> <p>146 大動脈用ステントグラフト</p> <p>(1)~(3) (略)</p> <p>(4) 大動脈解離用ステントグラフトは、当該材料の解剖学的適応を満たす合併症を有する <u>急性期 Stanford B 型大動脈解離</u> を有する患者のうち、内科的治療が奏効しない患者に対して、ステントグラフト内挿術が行われた場合に限り算定できる。なお、大動脈解離用ステントグラフトを使用するに当たっては、関係学会の定める当該材料の実施基準に準じること。</p> <p>(5) (略)</p> <p>147~216 (略)</p> <p>4~6 (略)</p> <p>II~IV (略)</p>